

1 目 的

これまで生態系への影響を考慮しつつ、刈取船や手作業によるヒシ除去作業を行ってきた。ヒシの繁茂面積は、隔年周期で増減を繰り返しながら減少していたが、平成 30 年度以降は微増が続いている。また、クロモの繁茂によりボートの運航に支障を来すなど新たな問題も生じている。諏訪湖創生ビジョン（令和 5 年 3 月改定）において、ヒシ除去の新たな仕組みづくりを検討し、今後 5 年間でヒシ除去量倍増を目指すこととしており、手法や実施場所等の検討を行う必要があるほか、ヒシ以外の水草の対策についても議論する必要があることから、諏訪湖創生ビジョン推進会議にワーキンググループを設置し、検討、合意形成を図る。

【ヒシ繁茂のマイナス面】

貧酸素化を招く、船の運航の支障、景観を損ねる

【ヒシ繁茂のプラス面】

栄養塩類を吸収、野鳥のエサ場・魚類の産卵場所



生態系のバランス、繁茂場所の状況、除去の目的を明確にし、計画的に除去

2 概 要

(1) 「諏訪湖の水草対策」ワーキンググループ（WG）メンバー

諏訪湖創生ビジョン推進会議構成員（流域市町村、県（地域振興局、建設事務所、水大気環境課）他）

※事務局：諏訪湖クラブ、地域振興局環境課

(2) 令和 5 年度活動実績

ア 諏訪湖におけるヒシ除去の試行

ヒシの実のつくロゼット葉の除去を試行的に実施するとともに、除去区

画への周囲からのヒシの実の流入を防ぐため、設置網を設置

イ 調査・試行結果等のとりまとめ及び共有

下記エの第 1 回 WG において結果を発表

ウ 学習会の開催（一般公開）

令和 6 年 1 月 22 日に「ヒシの大量繁茂対策に関する学習会」を開催

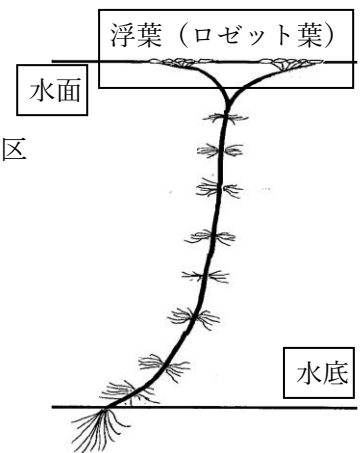
講師：東京大学大学院 吉田丈人 教授※

※ヒシの大量繁茂が課題となっている福井県の三方湖における研究等をされている。

WG での検討に先立ち、ヒシの特性を正しく理解するとともに、三方湖の事例について学ぶため開催。

エ 第 1 回 WG の開催

上記ウの学習会後に開催。諏訪湖創生ビジョン推進会議会長（沖野氏）、水大気環境課、諏訪建設事務所整備課、諏訪地域振興局環境課から事例紹介。その後グループに分かれて課題、解決策等について意見交換、提案。



3 これまでの経過及び今後の予定

日程	WG	ロゼット葉除去
令和 5 年 5 月	WG 設置	
6 月～8 月	先行事例調査	試行の実施団体公募、契約
9 月		ロゼット葉除去試行
11 月	結果のとりまとめ	
令和 6 年 1 月	学習会、第 1 回 WG	
4 月～5 月	第 2 回 WG（実施主体による検討）	
6 月～9 月		除去後の効果調査

- 令和 6 年度はヒシ除去実施主体による具体的な検討、令和 5 年度事業の効果調査等を実施予定

学習会及び第1回WGの概要

諏訪地域振興局環境課

1 日 時

- (1) 学習会 令和6年1月22日（月） 午後1時30分から午後2時40分まで
- (2) 第1回WG 令和6年1月22日（月） 午後2時50分から午後3時50分まで

2 場 所

- (1) 学習会 諏訪合同庁舎 5階 講堂
- (2) 第1回WG 諏訪合同庁舎 5階 講堂

3 参加者

- (1) 学習会 37名
- (2) 第1回WG 33名

4 内 容

(1) 学習会（講演概要）

- ・ ヒシは一年生の植物。多くの種子は、結実した翌年に発芽する。発芽部分から細菌が入り腐敗するため、ヒシの種子の寿命は長くても2年程度。
- ・ 同じ湖沼内でも栄養状態などで種子の形状が大きく変わる。日本でよく見られるのはヒシとオニビシ。諏訪湖はヒシ。トウビシは九州でよく見られる大型の種。
- ・ ヒシの葉を食べるジュンサイハムシが洗濯物を汚す原因になることがある。
- ・ 三方湖では流入河川の河口部は流れが強く、また、汽水が混ざるエリアは塩分濃度が高いためヒシがほとんど繁茂しない。
- ・ 三方湖ではヒシの繁茂面積が年によって大きく変動するため、予算の確保や執行が困難になることがある。
- ・ 三方湖では当初大型の刈取船をレンタルしていたが、ワイヤー刈りを導入して経費を削減できた。ワイヤー刈りは茎が細い春にやることが重要。
- ・ 三方湖では自然再生を地域やコミュニティの再生としても位置付けている。

(2) 第1回WG

沖野会長から諏訪湖の概要についての講義、水大気環境課、諏訪建設事務所整備課、諏訪地域振興局環境課からこれまでの取組事例の紹介後、6つのグループに分かれて課題や解決策について議論（ワークショップ）を実施。

【ワークショップにおける主な提案】

- ・ ヒシ除去の目的を明確にし、水生植物全体の管理をする。
- ・ 種子を落とさない。落ちた種子の分布を広げない。
- ・ 観光税を活用したヒシの除去
- ・ 学習会で紹介のあった三方湖のゾーニングや春先の刈取を諏訪湖でも導入してはどうか、等